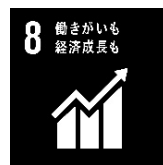


働きやすさと働く喜びが実感できる環境づくりのために

(※)郡山西部エリア工業団地
操業企業アンケートを実施しました



令和3年12月21日

郡山市産業観光部

産業政策課

担当：石澤 哲夫

ターゲット 8.3 TEL：924-2251

SDGs ターゲット 8.3 「生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進する」

本市西部エリアには、4つの工業団地があり、本市の雇用や経済等を支えています。

市では、本エリアで操業する事業者の皆様の現状や要望等を把握するため、アンケート調査を実施し、その結果をまとめました。

○調査概要（詳細は別紙のとおりです）

調査事業名	郡山西部エリア工業団地操業企業アンケート	
目的	本市西部エリア工業団地に進出された企業の要望をはじめ、操業するうえで重要と思われる事項について把握し、施策の参考とします。	
結果	調査内容	結果
	現在と将来（2030年）のエリア内従事者数	現在の従事者数 4,950人 2030年の従事者数 5,764人（約16%増） + 西部第一工業団地 将来拡張分
	自家用車通勤率及びルート別の通勤者数利用率	自家用車通勤率 97.8%（4,843人） うち 国道49号喜久田経由 45.9%（2,222人） 県道河内郡山線片平経由 35.5%（1,718人）
団地内で必要なサービスや機能（複数回答可）	コンビニ等小売店 23% 金融機関 19% 公共交通機関の充実 15%	
考察	<input type="checkbox"/> 将来の人員増を検討している企業が多く、加えて、西部第一工業団地の拡張が予定され、本市の雇用や経済に対する本エリアの重要度がますます高まるものと考えられる。 <input type="checkbox"/> 改善要望が多く寄せられている通勤ルートがあることから、関係機関と連携して手法を検討する必要がある。	
回答率	96.2%（調査数 エリア内全81社・回答数78社）	
担当	産業観光部 産業政策課 産業団地室長 若穂 豊 TEL:024-924-2251	

(※)「郡山西部エリア工業団地」

西部第一工業団地、西部第二工業団地、ウエストソフトパーク、うねめ企業団地

郡山西部エリア工業団地操業企業アンケート 調査結果

目的

本市西部地区工業団地(西部第1、西部第2、ウエストソフトパーク、うねめ企業団地等)に進出された企業の要望をはじめ、操業するうえで重要と思われる事項について把握し、今後の施策の参考とする。

特に、次の項目について活用していく。

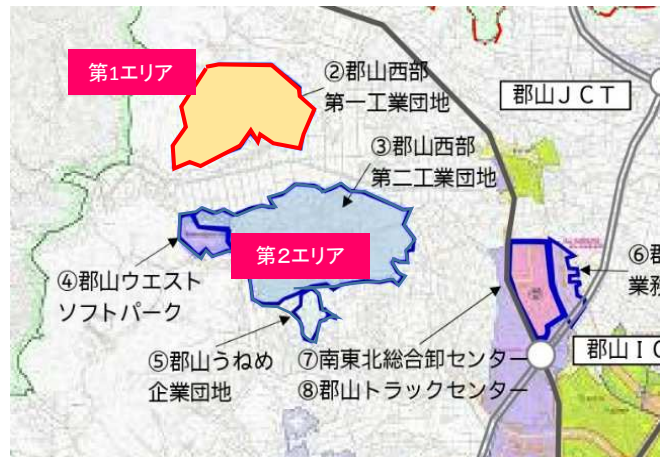
- 現在と将来のエリア内従事者数を把握し、今後のあり方の基礎資料とします。
- ルート別の通勤者数を把握し、各種道路行政の基礎資料とします。
- 市に対する要望や課題を把握し、労働環境改善等の検討資料とします。

対象 郵送にて依頼。回答方法は「電子申請システム」または「FAX」締め切り以降は、会社訪問によるヒアリング

西部第1、西部第2、ウエストソフトパーク、うねめ企業団地等にて操業している企業
質問票送付 81社

▶ 回答 78社 (回答率 96.2%)

分類	第1エリア (西部第一工業団地)	第2エリア (西部第二工業団地、ウエストソフトパーク(WSP)、うねめ企業団地)
送付者数	20	61
回答者数	17	61
回答率	85%	100%

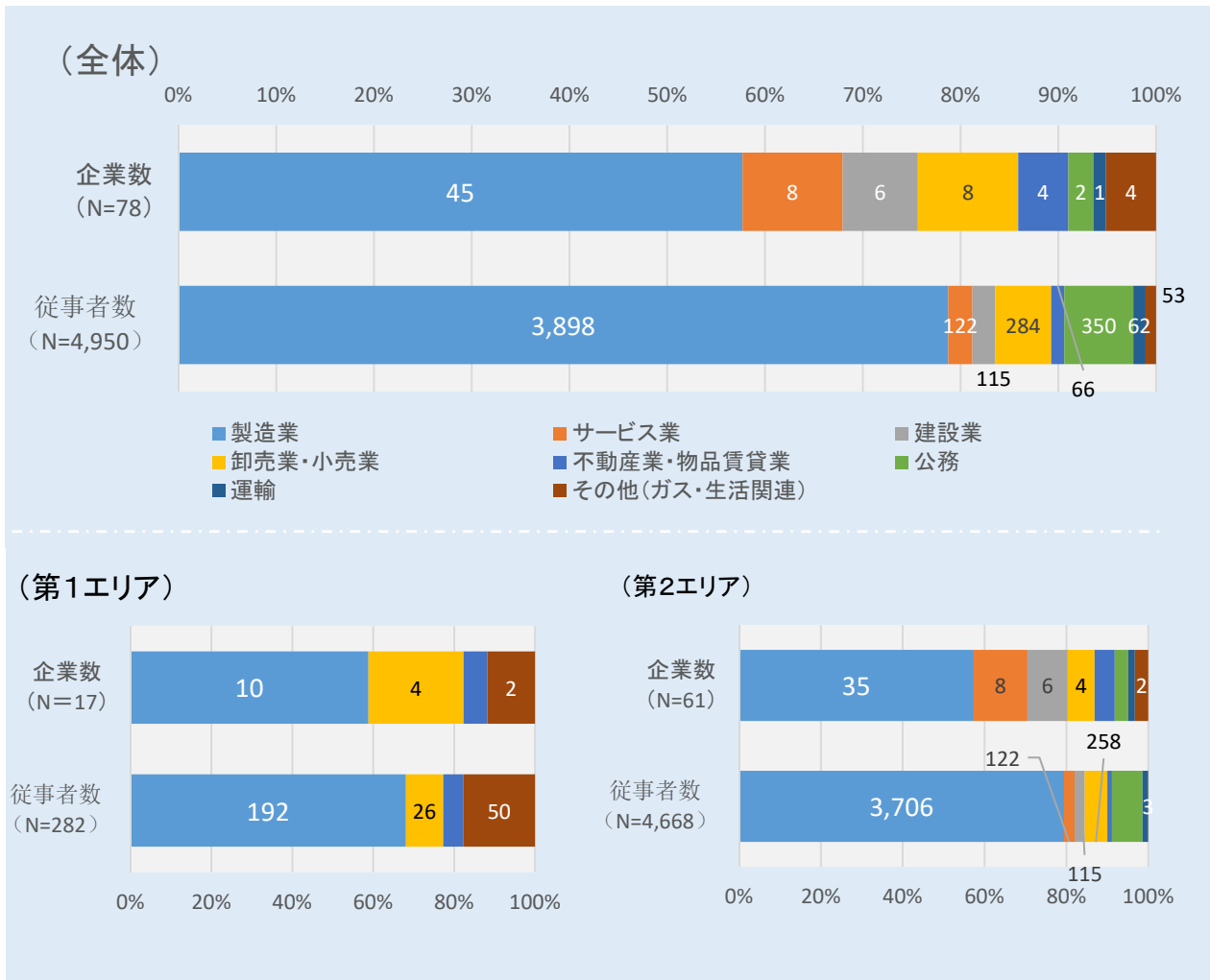


※基準日 2021(令和3年)8月1日

contents

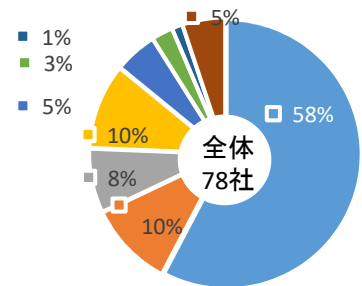
頁	No	項目	図表
2	1	業種別企業数及び従事者数	全体・エリア別 製造業分類
3	2	従事者数別企業数	全体・エリア別 輸出に取り組む企業
4	3	現在の景況感	全体・エリア別 製造業景況感 非製造業景況感
5	4	2030年の従事者数の増減見込	将来想定従事者数 10名以上増加想定企業
5	5	団地内で必要なサービスや機能	全体・エリア別
6	6	従事者通勤ルート	ルート別利用者割合
7			ルート別意見・要望
8~9	7	操業における重要度と満足度	全体・エリア別・他比較

No1 業種別企業数及び従事者数 製造業の占める割合は高く、企業数は58%、従事者は79%を占める。



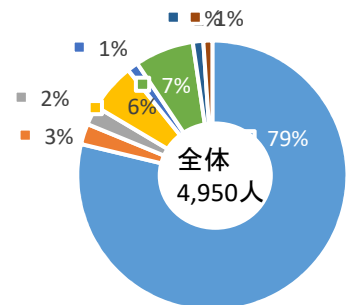
□ 企業数

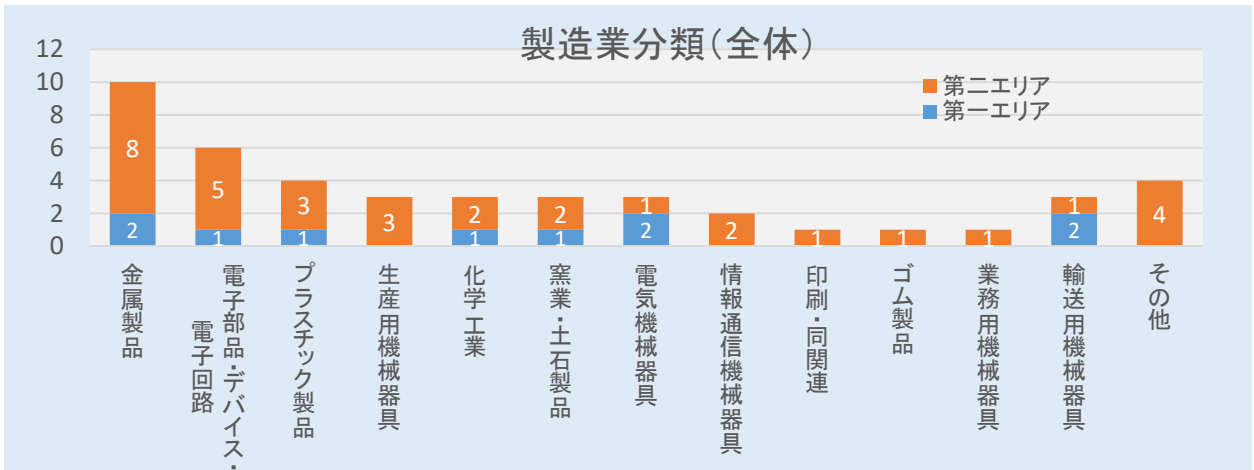
エリア/種別	合計	内訳							
		製造業	サービス業	建設業	卸売業・小売業	不動産業・物品賃貸業	公務	運輸業、郵便業	その他
第1 西部第一	17	10	0	0	4	1	0	0	2
第2 西部第二 WSP	38	29	0	2	3	1	2	0	1
第2 うねめ企業 その他	23	6	8	4	1	2	0	1	1
合計	78	45	8	6	8	4	2	1	4



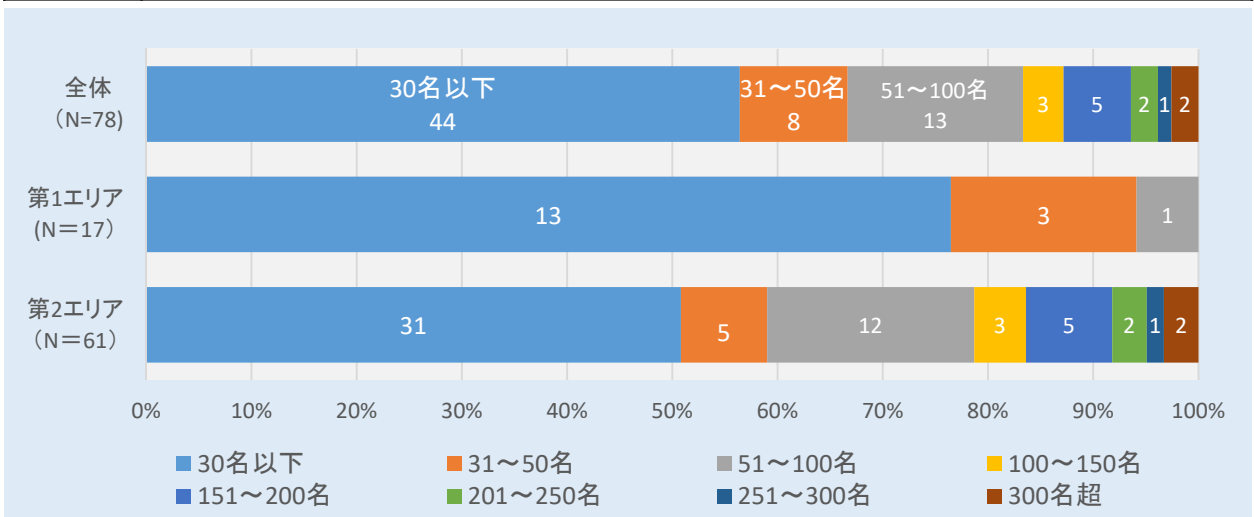
□ 従事者数

エリア/種別	合計	内訳							
		製造業	サービス業	建設業	卸売業・小売業	不動産業・物品賃貸業	公務	運輸業、郵便業	その他
第1 西部第一	282	192	0	0	26	14	0	0	50
第2 西部第二 WSP	4,313	3,671	0	46	215	30	350	0	1
第2 うねめ企業 その他	355	35	122	69	43	22	0	62	2
合計	4,950	3,898	122	115	284	66	350	62	53





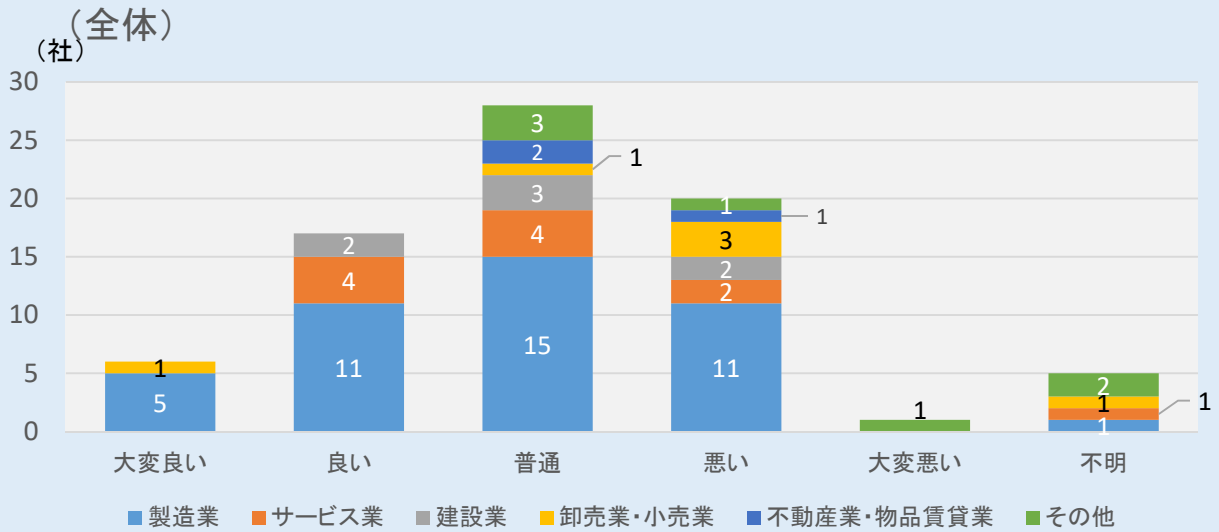
No2 従事者数別企業数 従事者30人以下の小規模事業者が5割超。第1エリアは今後の本格的な稼働により増員も見込まれる。



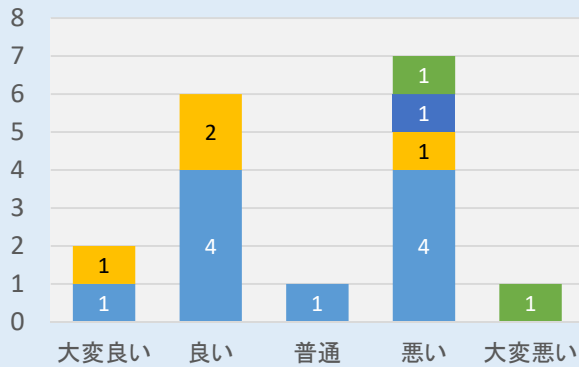
【参考】 輸出に取り組んでいる企業(13企業) ※すべて西部第二工業団地にて操業

従事者数	社名	製造業分類	売上げに対する輸出割合
100人未満	A 社	窯業・土石製品製造業	30%
	B 社	業務用機械器具製造業	10%
	C 社	プラスチック製品製造業	20%
	D 社	その他製造業	40%
	E 社	化学工業	10%
	F 社	窯業・土石製品製造業	10%
100人以上	G 社	電子部品・デバイス・電子回路製造業	40%
	H 社	電子部品・デバイス・電子回路製造業	20%
	I 社	化学工業	70%
	J 社	電子部品・デバイス・電子回路製造業	80%
	L 社	輸送用機械器具製造業	20%
	M 社	生産用機械器具製造業	50%
	N 社	電子部品・デバイス・電子回路製造業	60%

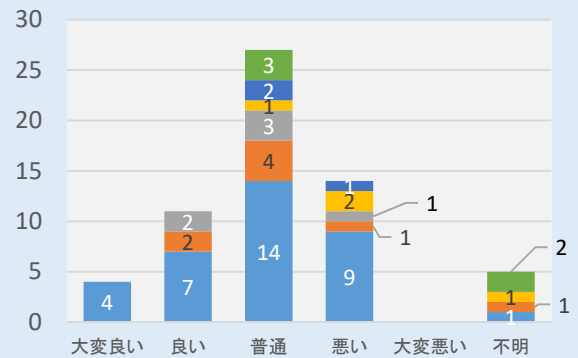
No3 現在の景況感 エリア及び業種(製造業:非製造業)によって景況感に差異が発生している。



現在の景況感(第一エリア)

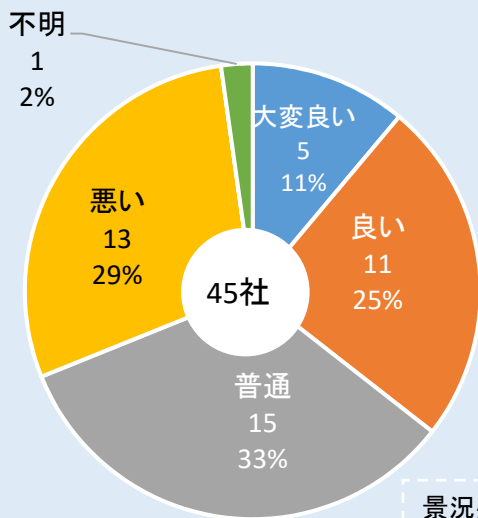


現在の景況感(第二エリア)

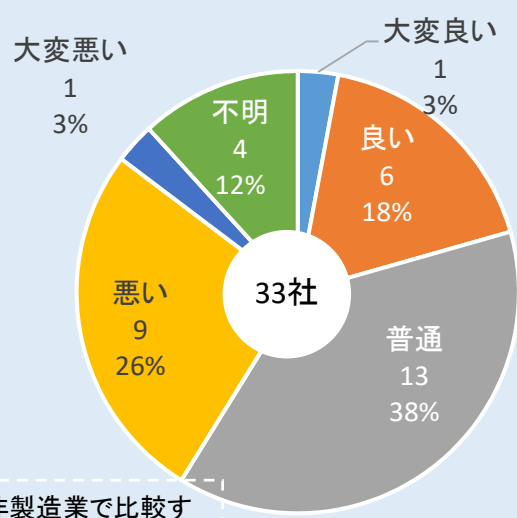


エリアによって山の位置がずれている。

製造業 景況感(全体)



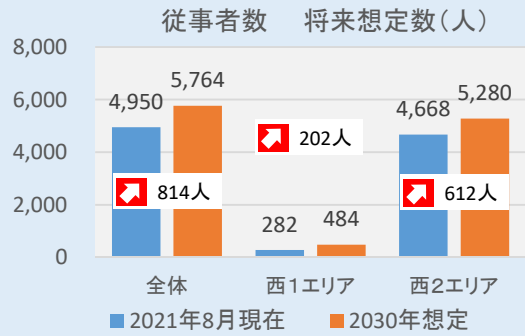
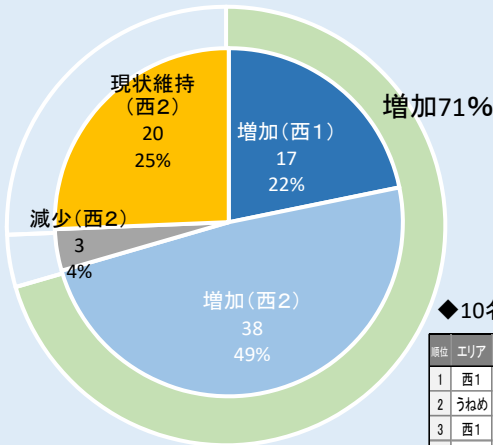
非製造業 景況感(全体)



景況感を製造業と非製造業で比較すると、「大変良い・良い」と答えた製造業が15ポイント多い。

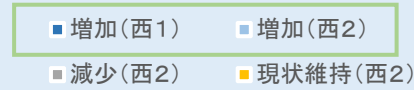
No4 2030年の従事者数の増減見込 既存企業で現従事者数より約16%(約800人)増。加えて西部第一2工区販売による+αあり

将来従事者増減別企業数(全体)



◆10名以上の増加を想定する企業

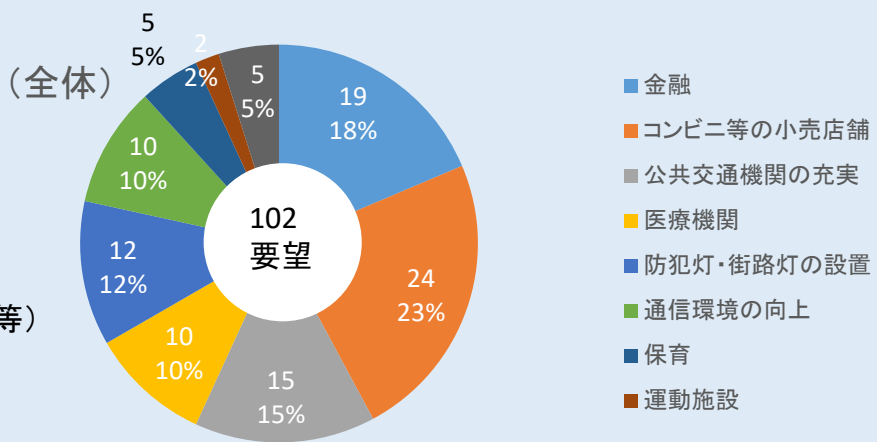
順位	エリア	業種	現在 2021/8/1	将来 2030/8/1	増加数	順位	エリア	業種	現在 2021/8/1	将来 2030/8/1	増加数
1	西1	電気機械器具製造業	0	250	250	12	西2	窯業・土石製品製造業	69	85	16
2	うねめ	運輸業、郵便業	62	300	238	13	西1	輸送用機械器具製造業	75	90	15
3	西1	電子部品・デバイス・電子回路製造業	0	115	115	13	西2	研究機関	55	70	15
4	うねめ	窯業・土石製品製造業	5	100	95	15	西1	電気機械器具製造業	37	50	13
5	西2	電子部品・デバイス・電子回路製造業	750	800	50	15	西2	金属製品製造業	207	220	13
6	西2	電子部品・デバイス・電子回路製造業	160	200	40	17	西1	化学工業	0	10	10
7	西2	電子部品・デバイス・電子回路製造業	120	150	30	17	西2	その他製造業	60	70	10
8	西1	輸送用機械器具製造業	38	65	27	17	西2	不動産業、物品賃貸業	30	40	10
9	西2	化学工業	179	200	21	17	うねめ	サービス業	8	18	10
10	西2	情報通信機械器具製造業	100	120	20	17	うねめ	建設業	30	40	10
11	西1	金属製品製造業	18	36	18	17	うねめ	サービス業	20	30	10



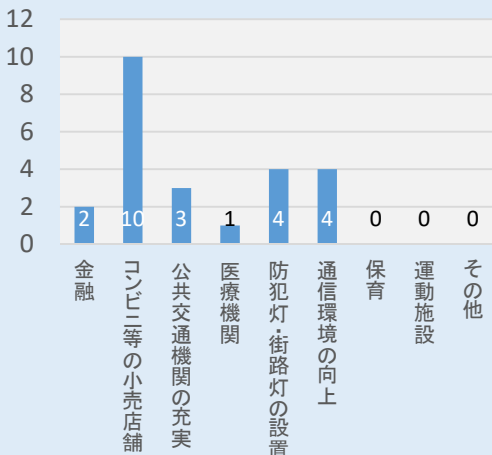
※西1エリア企業はすべて「増加」

No5 団地内で必要なサービスや機能 金融機関とコンビニ等小売店舗で4割強の要望。民間事業者の誘導が必要。

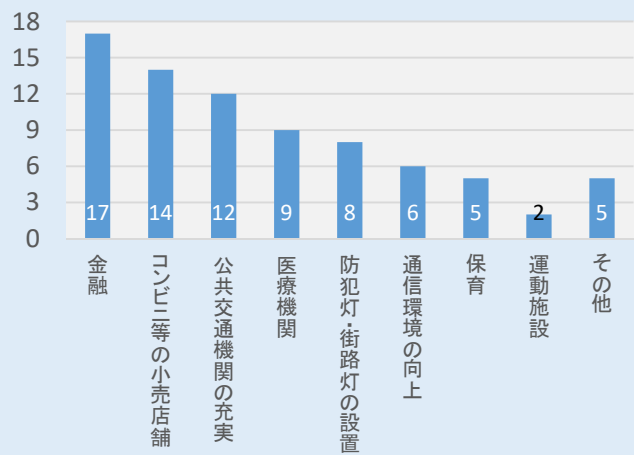
【自由記載】
ホームセンター
飲食店 3票
(定食屋、ラーメン店等)
ガソリンスタンド
事業所税の見直し



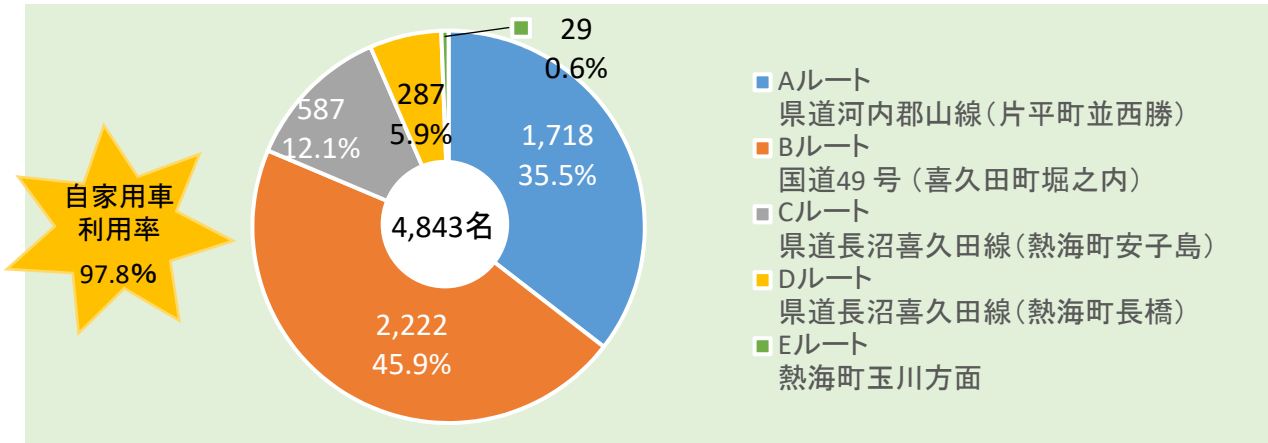
要望数 (西1エリア)



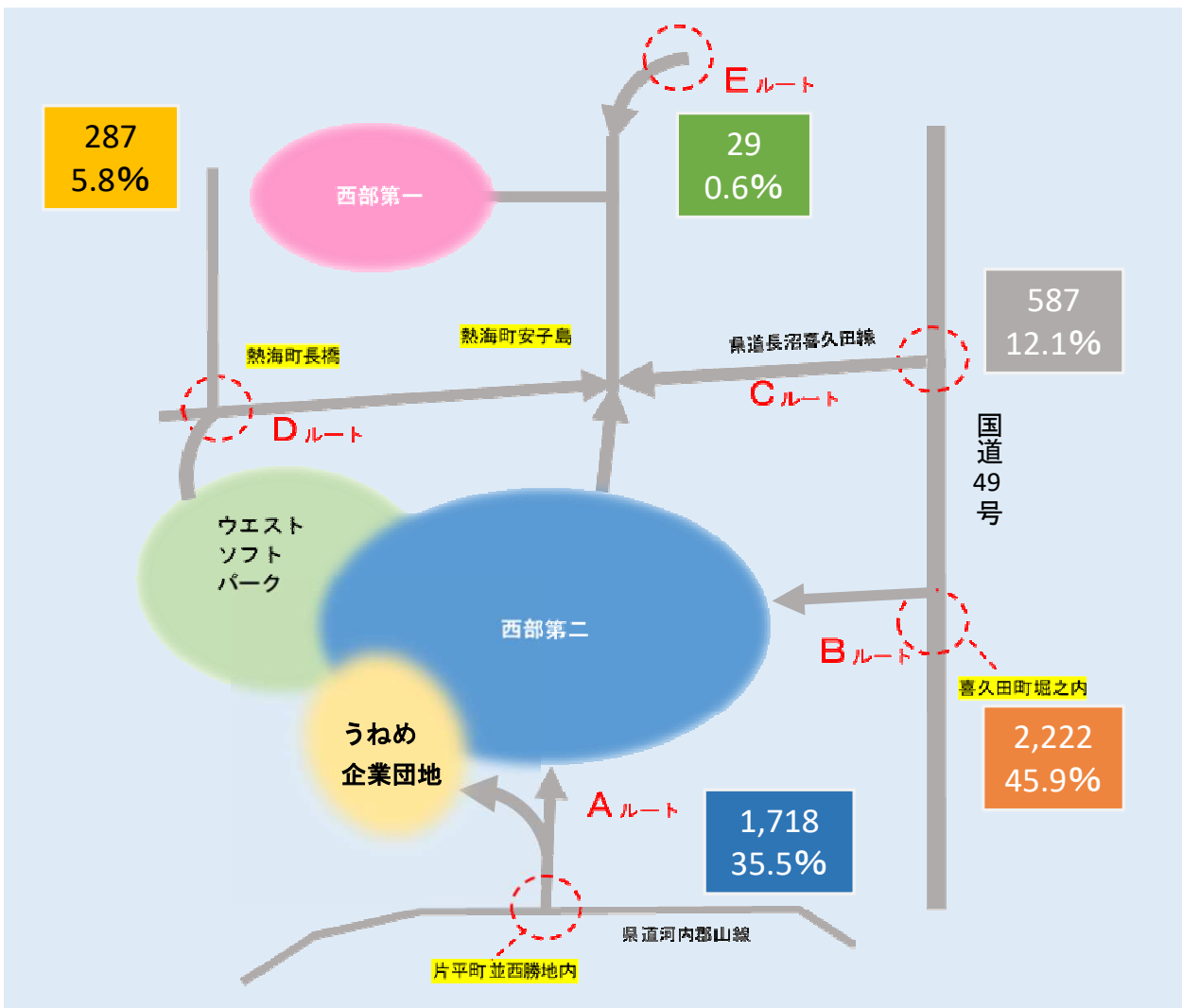
要望数 (西二)



No6 従事者通勤ルート A・Bルートで7割以上を占める。Aルートへ改良要望が多く寄せられている。



エリア	Aルート 県道河内郡山線 (片平町並西勝)	Bルート 国道49号(喜久 田町堀之内)	Cルート 県道長沼喜久田 線(熱海町安子島)	Dルート 県道長沼喜久田 線(熱海町長橋)	Eルート 熱海町玉川方面	合計
西部第1	86	151	105	12	29	383
西部第2	1,632	2,177	482	275	0	4,566
合計	1,718	2,328	587	287	29	4,949



ルート別 意見・要望

Aルート 県道河内郡山線(片平町並西勝)

朝夕の渋滞、混雑緩和	
提案・お願い	
渋滞緩和	右折レーン 右折レーンがなく、渋滞がひどい。 右折をするのが難しい 右折、左折時に対向車が多く曲がれない。次の信号で詰まってしまう。 通勤時間の片平町並西勝の交差点での渋滞を改善してほしい 片平町並西勝地内交差点付近の渋滞解消を希望(通勤時間帯)
	信号機改善 信号のタイミングが悪い。道が悪い。 県道河内郡山線と郡山矢吹線のぶつかる交差点が朝は信号のタイミングが悪く、中央スマートIC側から向かうとなかなか進まない
	細街路危険解消 農道の細道を通ってくる車がAルート塞いでしまう。 歩道がなく自転車と自動車がいっしょ衝突してもおかしくない、特に夜間は外灯がなく非常に危険。 道の細さ、近隣住民への迷惑の考慮 渋滞を避けるため、細い道を通らなければならない、対向車とのすれ違いに気を遣う。 県道河内郡山線の道路整備。特に希望ヶ丘団地周辺の交差点
	凍結 冬道で長い下り坂があるため、除雪をお願いしたい 冬季は道路の凍結がひどく非常に危険。

Bルート 国道49号(喜久田町堀之内)

提案・お願い	
渋滞緩和	交差点改良 49号から工業団地への左折車線の矢印信号で流れを良くしてほしい 国道49号の郡山市街方面からの道路がいつも混んでいる。桜通り交差点、采女通り交差点、4号バイパス交差点、インター線交差点、卸団地交差点が特にひどい。 渋滞がひどい。冬季は特に渋滞する。
	細街路 49号より東側の道が細い 八山田から49号に抜ける道に通学路があるため、卸町を抜けるルートが欲しい。
	その他 アスファルトの補修など

Cルート 県道長沼喜久田線(熱海町安子島)

渋滞緩和	右折時の混雑。右折レーン必要か？ 国道49号交差点の渋滞がひどい。
	その他 動物の飛び出し 危険 ゴミの散乱 街灯が少ない 雑林がはみ出してるので、非常に危険

Dルート 県道長沼喜久田線(熱海町長橋)

その他	動物等の飛び出し 危険
-----	-------------

No7

操業における重要度と満足度

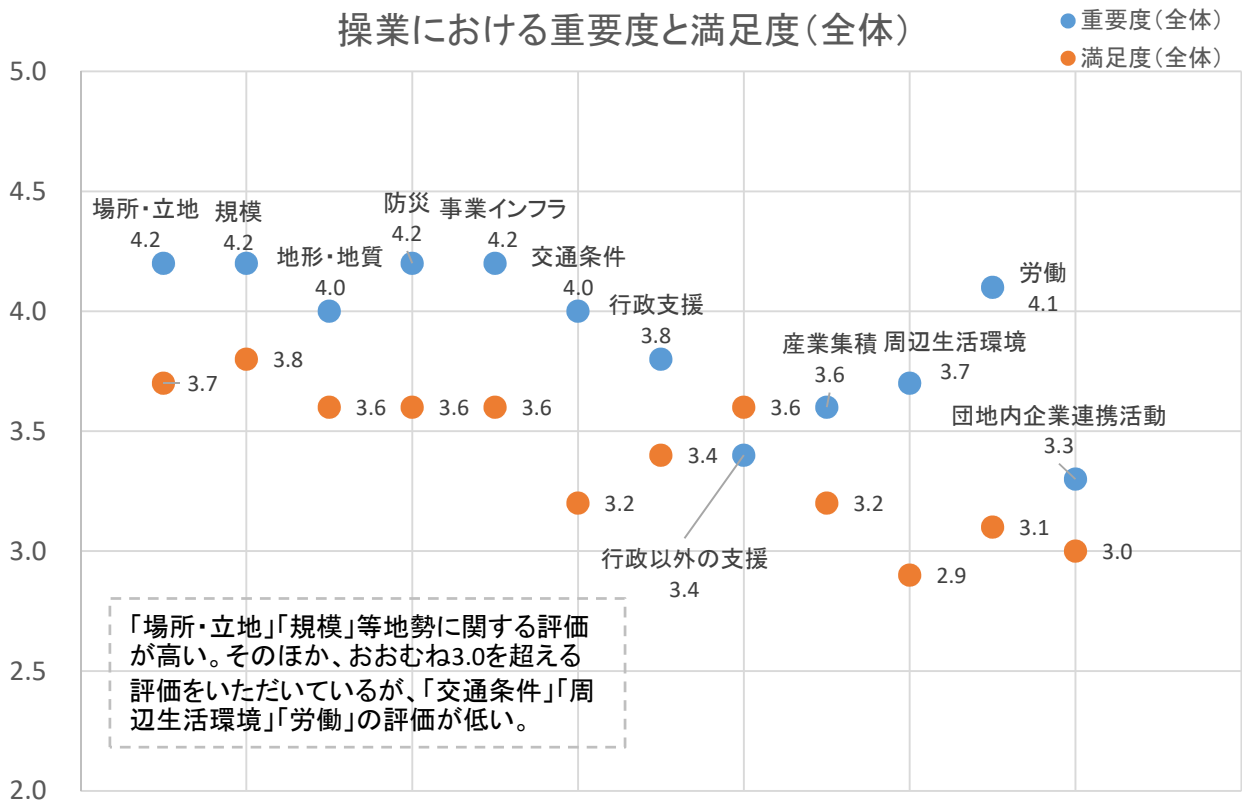
重要度と満足度の差を認識することで、今後の労働環境の改善に向けたヒントとなる。

各企業に(1)～(12)までの項目について、

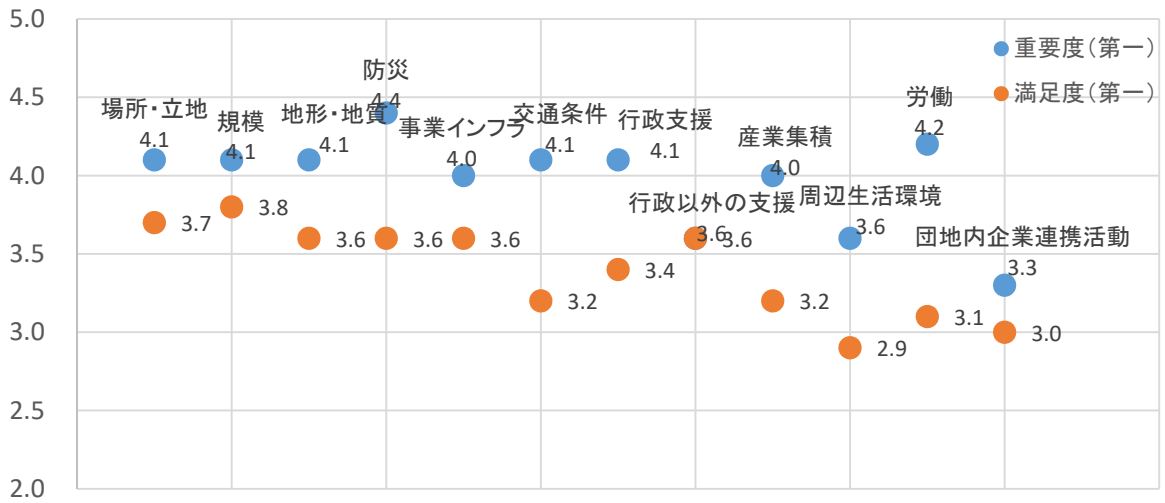
- ◆ 経済活動を進める場所を選定するための「重要度」を5段階で記入する。
5...かなり重要 4...重要 3...どちらでもない 2...低い 1...かなり低い
- ◆ 現在操業している中でその「満足度」を5段階で記入する。
5...かなり満足 4...満足 3...どちらでもない 2...満足していない 1...かなり満足していない

(1) 場所・立地
(2) 規模 (土地・床面積)
(3) 地形・地質
(4) 防災
(5) 事業インフラ (電気、ガス、水道等)
(6) 交通条件 (高速道、空港、鉄道等)
(7) 行政支援 (補助金・税制優遇)
(8) 行政以外の支援 (金融機関等との連携)
(9) 産業集積 (調達先、顧客等市場近接)
(10) 周辺生活環境 (通勤・子育て・居住環境)
(11) 労働 (賃金水準、人材)
(12) 団地内企業連携活動

操業における重要度と満足度(全体)



操業における重要度と西部第一工業団地の満足度



操業における重要度と西部第二工業団地周辺の満足度

